

# 芦別駅前広場等整備事業の実施を 来年度へ延期します

市は、地域公共交通機能の向上などを目的に、ＪＲ芦別駅前をＪＲ、バス、タクシーによる交通拠点として整備する「芦別駅前広場等整備事業」を今年度を実施する予定としていました。

事業実施に当たっては、財政上有利な財源（過疎対策事業債）の活用を前提として、これまで関係機関との協議を進めてきましたが、その活用が困難と判断されたため、代替財源の確保に向け引き続き協議を行い、この

ほどその見通しが立ったところですが、

しかし、これまでの調整に一定期間を要したことから、今後、工事を実施するとした場合には、年内に完工するのが困難であるため、今年度の実施を見送り、来年度へ延期することとしました。

市民の皆様をはじめ、関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたこととお詫びいたします。

●問い合わせ まちづくり推進係

## (仮称)北海道立林業大学校について

### ■市民説明会を開催しました

8月2日、「(仮称)北海道立林業大学校設立についての市民説明会」を総合福祉センターふれあいホールで開催し、約60人の参加がありました。当日は、昨年10月に開催した「誘致報告会」以降の本市の活動状況と他地域の状況などを交え、北海道が運営体制について公表するまでの経過と北海道が示した林業大学校の拠点の設置場所や運営体制、本市の今後の対応などについての説明を行いました。

### ■今後の活動

北海道から示された広域的な運営体制は、下表のとおりです。本市は、1年次を中心に基礎知識・技術を学ぶ「講義拠点」として位置付けられています。北海道が年内に策定する「基本計画」に地域の施設の活用や実習期間等が盛り込まれることから、「講義拠点」のほか、「基礎実習・実践実習拠点」としても本市が活用されるよう、市議会、芦別市北海道立林業学校設立・誘致期成会と連携した取り組みを継続していきたいと考えていますので、引き続き市民の皆さんのご協力をお願いいたします。

### ◎(仮称)北海道立林業大学校の広域的な運営体制

拠点の区分	拠点での講義・実習内容等	地 域
【講義拠点】 (1年次主体)	○基礎的な知識・技術を体系的に身に付ける ・基礎知識や専門知識の講義 ・実技演習、講義を補完する実習	旭川市(林産試験場) 美幌市(林業試験場) 芦別市 下川町
【基礎実習拠点】 (1年次主体)	○講義拠点と一体的に運営し、基礎・応用技術を身に付ける ・林業機械操作や木材加工技術などの集中的な実習	上川、オホーツク、十勝
【実践実習拠点】 (2年次主体)	○就業につながる、専門的な知識・技術を身に付ける ・長期インターンシップなど、多様な地域特性を生かした実習	全道7地域(道央、道北、オホーツク、根室・釧路、十勝、胆振・日高、道南)

## 市長だより

17



8月8日から3日間開催されたベースボールサマーキャンプでは、高橋慶彦さんら6氏が講師を務めてくださいました

路線バス等の乗合環境や待合環境の改善と駅前地区のにぎわい創出に向け、今年度に事業実施を予定していました「芦別駅前広場等整備事業」について、事業費財源の確保や工事期間の関係から、来年度に先送りせざるを得ないこととなりました。市民の皆さんや市議会並びに関係者の皆さんにご迷惑やご心配をおかけすることとなり、申し訳なく思っています。来年度実施に向けては、遺漏のないようしっかりと取り組んでまいります。

7月25日から3日間、平成31年度の国の施策と開発予算について、地方の課題や声を関係省庁および道内選出国会議員の皆さんに届けるため、道内関係自治体の首長とともに上京し、要望活動を行ってまいりました。特に、国道452号の整備促進については、沿線自治体7市町で構成する「一般国道452号建設促進期成会」とともに、本市はもとより北海道にとつても重要な広域幹線道路であることを訴え、事業費予算の確保等を強く要請してまいりました。

平成21年以来、今年で10年連続となる吉原知子監督率いる「J-Tマーヴェラス」の芦別合宿が8月18日から28日まで行われました。先のVリーグでの準優勝に続き、第67回黒鷲旗大会での優勝は、市にとつても大きな喜びであり、まさに元気を与えてきています。次に目指す新リーグでの初代王者の座をぜひ勝ち取ってもらうためにも、市民の皆さんとともに応援していきたいと思えます。

9月10日から市議会定例会が開催されます。議員各位からの一般質問や決算審査特別委員会等を通じてしっかり議論し、将来を見据え、誤りのない市政運営に力を尽くしてまいります。

芦別市長 萩原 貢